

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成26年7月28日

【四半期会計期間】 第63期第3四半期(自 平成26年3月21日 至 平成26年6月20日)

【会社名】 マルサンアイ株式会社

【英訳名】 MARUSAN-AI CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 伊藤明徳

【本店の所在の場所】 愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地

【電話番号】 0564-27-3700

【事務連絡者氏名】 取締役管理統括部長 渡辺邦康

【最寄りの連絡場所】 愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地

【電話番号】 0564-27-3700

【事務連絡者氏名】 取締役管理統括部長 渡辺邦康

【縦覧に供する場所】 株式会社名古屋証券取引所
(愛知県名古屋市中区栄3丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第62期 第3四半期 連結累計期間	第63期 第3四半期 連結累計期間	第62期
会計期間	自 平成24年9月21日 至 平成25年6月20日	自 平成25年9月21日 至 平成26年6月20日	自 平成24年9月21日 至 平成25年9月20日
売上高 (千円)	16,309,121	16,350,661	21,975,119
経常利益 (千円)	447,024	61,992	549,972
四半期(当期)純利益 (千円)	253,533	10,427	329,863
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	295,995	35,375	399,733
純資産額 (千円)	3,114,144	3,178,297	3,217,523
総資産額 (千円)	16,463,194	16,084,148	16,377,527
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	22.09	0.91	28.74
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	18.8	19.6	19.5

回次	第62期 第3四半期 連結会計期間	第63期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成25年3月21日 至 平成25年6月20日	自 平成26年3月21日 至 平成26年6月20日
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額 (円)	6.93	2.76

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
 また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

契約会社名	相手方の名称	国名	契約品目	契約内容	契約期間
マルサンアイ株式会社	サハチョール	タイ	豆乳飲料	豆乳の製造に係る技術指導契約 当社商標の豆乳の製造・販売に係るライセンス契約	平成25年10月30日から 平成29年12月31日まで

(注) サハチョールの意向により、上記契約内容は、平成26年6月3日に公表いたしました。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間（平成25年9月21日～平成26年6月20日）におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和を背景に円安及び株価の上昇など景気回復の兆しが見られるものの、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により個人消費が伸び悩むなど、企業を取り巻く環境は、不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、世界的な穀物価格の高止まりに加え、円安による輸入原材料や包材の上昇並びに電力の値上げ等、内需産業にとって経営環境は大変厳しい状況にあります。

みそ業界におきましては、競合メーカーとの競争激化による販売単価の下落や、食の多様化による出荷数量の減少が続いております。その一方で、「和食」がユネスコ文化遺産に登録されたことにより、今後国内外においてみその取扱いの増加が期待されます。

豆乳業界につきましては、健康志向の高まりを背景に、市場は引き続き堅調に推移しているものの、伸長率は鈍化しております。

このような環境の中で、当社は消費者の皆様方に安全で安心できる製品の提供に努めるとともに、事業の効率化やコスト削減に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は、163億50百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は、36百万円（前年同期比88.5%減）、経常利益は、61百万円（前年同期比86.1%減）、四半期純利益は、10百万円（前年同期比95.9%減）となりました。利益の減少は、原材料コストの上昇、燃料等変動費の上昇、販売費及び一般管理費に含まれる販売促進費等の増加によるものであります。

みそ事業

即席みそが好調だったものの、消費税増税により予想以上に生みそ、調理みそが減少したため、売上高は、40億43百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

a. 生みそ

販売単価の回復が見られたものの、消費税増税及び主力製品のダウンサイジング化等により出荷数量が減少したため、売上高は、30億26百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

b. 調理みそ

鍋スープ市場の競争激化により、みそ関連鍋スープの出荷量が減少したため、6億53百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

c. 即席みそ

特定企業向けの製品等が好調に推移したため、売上高は、3億63百万円（前年同期比14.1%増）となりました。

豆乳飲料事業

豆乳及び飲料が消費税増税の影響を受けたものの、豆乳の海外輸出の増加により堅調に推移し、売上高は、116億64百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

なお、持分法適用関連会社のアメリカン・ソイ・プロダクツ INC. につきましては、持分法による投資損失6百万円を営業外費用に計上しております。

a. 豆乳

海外輸出の増加により堅調に推移し、売上高は、94億35百万円（前年同期比1.8%増）となりました。

b. 飲料

アーモンド飲料が堅調に推移したため、売上高は、22億28百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

その他食品事業

鍋スープ市場の競争激化により、その他鍋スープの出荷量が減少したため、売上高は、6億42百万円（前年同期比10.6%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

資産

流動資産は、79億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ90百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、現金及び預金の増加3億99百万円等があったものの、受取手形及び売掛金の減少2億79百万円、商品及び製品の減少1億21百万円、仕掛品の減少32百万円等によるものであります。

固定資産は、81億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億2百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、機械装置及び運搬具の減少1億32百万円、建物及び構築物の減少91百万円、土地の減少43百万円等によるものであります。

この結果、資産合計は、160億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億93百万円減少いたしました。

負債

流動負債は、82億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億57百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、支払手形及び買掛金の減少4億25百万円等によるものであります。

固定負債は、46億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億3百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、長期借入金の増加1億39百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、129億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億54百万円減少いたしました。

純資産

純資産合計は、31億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ39百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、利益剰余金の減少64百万円等によるものであります。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、57百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、研究開発活動に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年6月20日)	提出日現在発行数(株) (平成26年7月28日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,480,880	11,480,880	名古屋証券取引所 市場第二部	単元株式数：1,000株
計	11,480,880	11,480,880		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年3月21日～ 平成26年6月20日		11,480,880		865,444		612,520

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年6月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,455,000	11,455	同上
単元未満株式	普通株式 22,880		同上
発行済株式総数	11,480,880		
総株主の議決権		11,455	

- (注) 1 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式664株が含まれております。
 2 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成26年3月20日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成26年6月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) マルサンアイ株式会社	愛知県岡崎市仁木町字荒 下1番地	3,000		3,000	0.03
計		3,000		3,000	0.03

- (注) 当第3四半期会計期間末日現在の自己株式数は、3,664株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成26年3月21日から平成26年6月20日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年9月21日から平成26年6月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,457,725	1,857,356
受取手形及び売掛金	3,444,818	3,165,611
商品及び製品	771,463	649,886
仕掛品	513,122	480,572
原材料及び貯蔵品	510,079	537,840
その他	1,345,860	1,259,985
貸倒引当金	6,252	4,843
流動資産合計	8,036,817	7,946,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,715,349	2,624,054
機械装置及び運搬具(純額)	2,173,192	2,040,265
土地	2,642,135	2,598,325
その他(純額)	72,455	64,704
有形固定資産合計	7,603,133	7,327,350
無形固定資産	113,105	198,612
投資その他の資産		
投資有価証券	491,658	476,601
その他	149,162	146,180
貸倒引当金	16,350	11,006
投資その他の資産合計	624,470	611,775
固定資産合計	8,340,709	8,137,738
資産合計	16,377,527	16,084,148

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,990,464	2,564,861
1年内返済予定の長期借入金	2,221,662	2,241,807
未払法人税等	97,779	20,739
賞与引当金	323,745	160,701
未払金	2,584,453	2,387,944
その他	417,498	901,724
流動負債合計	8,635,603	8,277,778
固定負債		
長期借入金	2,842,626	2,982,147
退職給付引当金	1,359,664	1,315,499
資産除去債務	197,160	204,865
その他	124,948	125,561
固定負債合計	4,524,399	4,628,073
負債合計	13,160,003	12,905,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	865,444	865,444
資本剰余金	635,039	635,039
利益剰余金	1,740,665	1,676,490
自己株式	1,672	1,672
株主資本合計	3,239,477	3,175,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,790	8,037
為替換算調整勘定	59,363	32,185
その他の包括利益累計額合計	45,572	24,147
少数株主持分	23,619	27,142
純資産合計	3,217,523	3,178,297
負債純資産合計	16,377,527	16,084,148

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月21日 至平成25年6月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月21日 至平成26年6月20日)
売上高	16,309,121	16,350,661
売上原価	11,937,072	12,221,252
売上総利益	4,372,049	4,129,408
販売費及び一般管理費	4,056,818	4,093,069
営業利益	315,230	36,339
営業外収益		
受取利息	1,880	3,227
技術指導料	14,700	12,589
不動産賃貸収入	17,810	17,437
持分法による投資利益	3,210	-
デリバティブ評価益	80,107	16,648
為替差益	29,346	-
その他	35,740	35,685
営業外収益合計	182,797	85,589
営業外費用		
支払利息	36,260	35,805
持分法による投資損失	-	6,254
債権売却損	12,605	12,065
その他	2,138	5,811
営業外費用合計	51,004	59,937
経常利益	447,024	61,992
特別利益		
固定資産売却益	-	8,285
特別利益合計	-	8,285
特別損失		
固定資産除却損	30,763	14,486
その他	-	265
特別損失合計	30,763	14,752
税金等調整前四半期純利益	416,260	55,525
法人税等	162,561	41,972
少数株主損益調整前四半期純利益	253,699	13,553
少数株主利益	165	3,125
四半期純利益	253,533	10,427

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月21日 至平成25年6月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月21日 至平成26年6月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	253,699	13,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,653	5,762
為替換算調整勘定	23,641	27,584
その他の包括利益合計	42,295	21,822
四半期包括利益	295,995	35,375
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	293,633	31,852
少数株主に係る四半期包括利益	2,361	3,523

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年9月21日 至 平成26年6月20日)
(税金費用の計算) 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。
 なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費含む。)は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年9月21日 至 平成25年6月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年9月21日 至 平成26年6月20日)
減価償却費 581,198千円	減価償却費 577,652千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年9月21日 至 平成25年6月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年12月6日 定時株主総会	普通株式	68,875	6.00	平成24年9月20日	平成24年12月7日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年9月21日 至 平成26年6月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年12月5日 定時株主総会	普通株式	74,601	6.50	平成25年9月20日	平成25年12月6日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年9月21日 至 平成25年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	4,222,713	11,367,954	718,453	16,309,121	16,309,121
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	4,222,713	11,367,954	718,453	16,309,121	16,309,121
セグメント利益	485,548	2,313,999	126,266	2,925,815	2,925,815

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,925,815
全社費用(注)	2,610,584
四半期連結損益計算書の営業利益	315,230

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年9月21日 至 平成26年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	4,043,710	11,664,303	642,647	16,350,661	16,350,661
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	4,043,710	11,664,303	642,647	16,350,661	16,350,661
セグメント利益	541,129	2,020,067	86,158	2,647,355	2,647,355

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,647,355
全社費用(注)	2,611,015
四半期連結損益計算書の営業利益	36,339

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年9月21日 至 平成25年6月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年9月21日 至 平成26年6月20日)
1株当たり四半期純利益金額	22円09銭	0円91銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	253,533	10,427
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	253,533	10,427
普通株式の期中平均株式数(株)	11,478,887	11,477,216

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年7月28日

マルサンアイ株式会社
取締役会 御中

三優監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 杉 田 純

代表社員
業務執行社員 公認会計士 林 寛 尚

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているマルサンアイ株式会社の平成25年9月21日から平成26年9月20日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成26年3月21日から平成26年6月20日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年9月21日から平成26年6月20日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、マルサンアイ株式会社及び連結子会社の平成26年6月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。